

医師・看護師・介護職員的大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 67 号

2010年3月9日

日本医労連増員闘争本部

TEL: 03-3875-5871

FAX: 03-3875-6270

アンケート回収 100%「需給者数は増えている」が微増

第7次需給通しで懇談 (富山県医労連)

2月24日、第7次次需給者計画について県と懇談を行いました。県医労連は清水委員長 嵯峨書記長が出席、県からは医務課石丸課長補佐、他1名が対応しました。

県は、「10月に検討委員会第一回を開き、11月にアンケートを出してもらい100%の回収率だった。国へはまだ提出していない。需給者数は、増えている。病院は、減っているものの、必要数は、微増している。在院日数の短縮によって、外来で告知したり、化学療法をしたりということが増えている。在宅での必要数も増えている。療養病床も削減の方向が政権が変わったことにどうなっていくのかわからない、供給の点では、4月から富山大学の定員が60名から80名に増える。やめない職場づくりに力を入れてきた。子育てによるリタイヤや30代で、これからという人がやめている。研修制度やアドバイザーの制度をもうけ、新人の離職率、全国が9.2%のところを、3.3%でトップになった。再就職は、各ハローワークに相談できるところを設けるなど力を入れてきた」とのことでした。

3月5日の厚生労働省・看護課交渉では、「まだ、全県が集まっていない。4月からヒアリングを開始する」とのことでした。

院内保育所予算が増額

2010年度予算が衆議院を通過しましたが、「女性医師等の離職防止・復職支援」「看護職員の離職防止・復職支援の充実強化」で増額になっています。

病院内保育所事業について

子どもを持つ看護職員、女性医師をはじめとする医療従事者の離職防止及び再就業を促進するため、医療機関に勤務する職員の乳幼児の保育を行う事業に対し、その運営費の一部(保育士等の人件費等)や、開設に当たっての施設整備について補助を行う。

○ 平成22年度予算案 2,059百万円(平成21年度予算額 1,994百万円)

※ 平成22年度予算案において、児童保育への補助を新設

専任の職員を配置し小学校低学年の子供に対する児童保育にも拡充 10,930円/日

(参考)

・保育士1人当たりの補助基準額 180,800円/月

・24時間保育等基準 20,080円/日

○ 補助率 1/3(国1/3、県1/3、事業者1/3)

○ 平成22年度予算案内訳 運営費:1,161百万円(対象か所数1,132か所→1,150か所)

24時間保育:751百万円(対象か所数655か所→623か所)

病児等保育:44百万円(対象か所数56か所→57か所)

緊急一時保育:30百万円(対象か所数25か所→25か所)

児童保育:73百万円(対象か所数80か所)

※ 運営費等は民間医療機関のみ対象、施設整備費は公的及び民間医療機関のみ対象

※ 院内保育を実施している病院数 3,031か所(平成20年医療施設調査・病院報告)